

改訂番号 : ORG

DJI式DJI Mini 4 Pro型

無人航空機飛行規程

日本語参考訳版（注：英語版が正式資料です）

管理責任者 : DJI JAPAN株式会社

改訂履歴

改訂番号	改訂年月日	改訂頁	改訂理由
ORG	2025 年 5 月 23 日		初版発行

目 次

第 1 章 概要.....	3
第 2 章 無人航空機運用限界.....	4
第 3 章 無人航空機の運用手順.....	6
第 4 章 性能情報.....	11
第 5 章 搭載情報.....	13
第 6 章 設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報.....	15
付録 1 – DJI Mini 4 Pro ユーザーマニュアル v1.4.....	17
付録 2 – DJI Mini 4 Pro 360° Propeller Guard ユーザーガイド v1.4.....	18
付録 3 – 広角レンズ及び ND フィルター.....	19

第 1 章 概要

1.1 設計者の名称

DJI JAPAN 株式会社

1.2 製造者の名称

DJI JAPAN 株式会社

1.3 無人航空機の種類及び型式

機体の種類: 回転翼航空機 (マルチローター)

型式: DJI 式 DJI Mini 4 Pro 型

1.4 無人航空機の飛行形態

機体	バッテリー	総重量	送信機	飛行形態
DJI Mini 4 Pro	IFB*	249 g	DJI RC2	1a
			DJI RC-N2	1b
	IFB-P**	292 g	DJI RC2	2a
			DJI RC-N2	2b
DJI Mini 4 Pro + PG***	IFB	333 g	DJI RC2	3a
			DJI RC-N2	3b

*IFB: DJI Mini 4 Proインテリジェントフライトバッテリー

**IFB-P: DJI Mini 4 Pro/Mini 3シリーズ インテリジェントフライトバッテリーPlus

***PG: DJI Mini 4 Pro 360° プロペラガード

第2章 無人航空機運用限界

2.1 一般

本章には、無人航空機の運用限界が記載される。

2.2 意図する運用のタイプ

認証を受ける機体が航空法第132条の85第1項（飛行の禁止空域）及び同法第132条の86第2項（飛行の方法）で規定されている特定飛行のうち、飛行可能なものを以下に示す。

第132条の85第1項第1号	空港等の周辺又は地上から150m以上の上空	非適用
第132条の85第1項第2号	人口集中地区（DID）の上空	適用
第132条の86第2項第1号	夜間での飛行	適用
第132条の86第2項第2号	目視外での飛行	適用
第132条の86第2項第3号	人又は物件と30m未満の距離での飛行	適用
第132条の86第2項第4号	催し場所上空での飛行	適用
第132条の86第2項第5号	危険物の輸送	非適用
第132条の86第2項第6号	物件の投下	非適用

2.3 最大離陸重量、最大積載重量

- 最大離陸重量:

飛行形態（1.4節を参照）	最大離陸重量
1a 又は 1b	249 g
2a 又は 2b	292 g
3a 又は 3b	333 g

- 最大積載重量: 非該当

2.4 禁止される運用

- IFB-P 及び PG の両方を装備した状態で本無人航空機を運用してはならない。
- PG を装備せずに人又は物件と 30m 未満の距離で飛行してはならない。

2.5 最大密度高度

飛行形態（1.4節を参照）	最大密度高度
1a 又は 1b	4800 m
2a 又は 2b	3850 m
3a 又は 3b	1950 m

2.6 PG を使用する際の制限

- PG を機体に取り付ける前に、必ず機体ファームウェアを v01.00.0200 以降に更新すること。
- PG を機体に取り付けた後、DJI Fly アプリが PG を検知していることを示すプロンプトが表示されるまで、機体を約6秒間ホバリングすること。PG が検出されると、機体は飛行することができる。

- PG を IFB とともに使用する場合、機体の最大離陸高度は 120 m、最大航続距離は 500 m となる。
- PG を機体に取り付けると、障害物検知機能が使用できなくなる。飛行ルート上に障害物がある場合、機体は能動的に障害物を迂回したり、ブレーキをかけたりすることができない。インテリジェントフライトモードの使用中でも、障害物検知は私用できない。
- PG を機体に取り付けた後、機体はフォーカストラック（3.2.4 節を参照）を使用できなくなる。
- PG を使用する場合、目視外で飛行してはならない。この際、操縦者は、機体を目視の範囲内に維持させなければならない。

2.7 運用高度

飛行形態（1.4 節を参照）	運用高度
1a 又は 1b	地上高 150 m 未満
2a 又は 2b	地上高 150 m 未満
3a 又は 3b	地上高 120 m 未満

2.8 飛行環境に関する制限

飛行環境：

- 大気温度範囲: -10°C~40°C

飛行が禁止される環境：

- 10.7 m/s を超える風速
- 雨、雪、着氷及び霧の状態
- 雷活動のエリアへ無人航空機が入る運用は禁止する。雷撃により無人航空機が喪失する可能性がある。

電磁干渉（EMI）又は高強度放射電界（HIRF）：

- この無人航空機は、放射電界に対する感受性に関する完全な環境適合性認証を取得するための十分な試験を受けていない。そのため、高周波電力に曝露した場合、無人航空機が確実に動作しない可能性がある。
- 高レベルの電磁波を発生する送電線、基地局、変電所、放送用電波塔などのあるエリアを避け、電磁干渉を最小限に抑えること。

2.9 操縦者と無人航空機の数の比率

- 1:1

第 3 章 無人航空機の運用手順

3.1 一般

本章には、無人航空機の運用手順（通常操作及び非常操作）が記載される。

3.2 通常操作

3.2.1 無人航空機を飛行させる準備

付録 1 の「初めてのご使用にあたって」（P.10-13）を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- 機体の準備
- 送信機の準備
- 機体のアクティベーション
- 機体と送信機の紐付け

3.2.2 飛行前の点検

無人航空機整備手順書の 1.6.3 節（飛行直前の点検）を参照すること。

3.2.3 飛行の基本

付録 1 の「飛行の基本」（P.23-26）を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- 自動着陸／自動着陸
- モーターの起動／停止
- 機体の制御
- 離陸／着陸手順
- 動画に関する提案とヒント

3.2.4 インテリジェントフライト

付録 1 の「インテリジェントフライトモード」（P.27-46）を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- フォーカストラック
- マスターショット
- ハイパーラプス
- ウェイポイント飛行
- クルーズ制御

3.2.5 飛行中の点検

無人航空機整備手順書の 1.6.4 節（飛行開始後の点検）を参照すること。

3.2.6 飛行後の点検

無人航空機整備手順書の 1.6.5 節（飛行後の点検）を参照すること。

3.2.7 機体システム

(a) フライトモード（ノーマル／スポーツ／シネ）

付録 1 の「フライトモード」（P.48-49）を参照すること。

- (b) 機体ステータスインジケータ
付録 1 の「機体ステータスインジケータ」 (P.49-50) を参照すること。
- (c) Return to Home
付録 1 の「RTH (Return-to-Home : 帰還)」 (P.50-56) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。
- アドバンスド RTH
 - 着陸保護
 - 高精度着陸
- (d) ビジョンシステムおよび 3D 赤外線検知システム
付録 1 の「ビジョンシステムおよび 3D 赤外線検知システム」 (P.57-59) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。
- 検知範囲
 - ビジョンシステムの使用
- (e) 高度操縦支援システム
付録 1 の「高度操縦支援システム (APAS)」 (P.60) を参照すること。
- (f) 視覚アシスト
付録 1 の「視覚アシスト」 (P.61-62) を参照すること。
- (g) フライトレコーダー
付録 1 の「フライトレコーダー」 (P.63) を参照すること。
- (h) プロペラ
付録 1 の「プロペラ」 (P.63-64) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。
- プロペラの取り付け
 - プロペラの取り外し
- (i) インテリジェント フライトバッテリー
付録 1 の「インテリジェント フライトバッテリー」 (P.65-71) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。
- バッテリーの機能
 - バッテリーの使用
 - バッテリーの充電
 - バッテリーの挿入／取り外し
- (j) ジンバル&カメラ
付録 1 の「ジンバル&カメラ」 (P.72-74) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。
- ジンバルの特徴
 - ジンバル操作モード
 - カメラの特徴
 - 写真と動画の保存とエクスポート
- (k) モバイル端末への写真と動画のクイック転送
付録 1 の「クイック転送」 (P.75) を参照すること。

3.2.8 送信機

(a) DJI RC 2

付録 1 の「DJI RC 2」(P.77-86) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- 操作
- 送信機の LED
- 送信機のアラート
- 送信機のリンク
- 最適な伝送範囲
- タッチ画面の操作
- 高度な機能

(b) DJI RC-N2

付録 1 の「DJI RC-N2」(P.87-92) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- 操作
- バッテリー残量 LED
- 送信機のアラート
- 最適な伝送範囲
- 送信機のリンク

3.2.9 DJI Fly アプリ

付録 1 の「DJI Fly アプリ」(P.93-102) を参照すること。
同節には、以下の内容が含まれている。

- カメラビュー
 - ボタンの説明
 - 画面のショートカット
- 設定
 - 安全
 - 制御
 - カメラ
 - 伝送
 - 詳細

3.2.10 DJI Mini 4 Pro 360° プロペラガード

付録 2 のプロペラガードの取り付け及び仕様に関するガイドを参照すること。

3.2.11 広角レンズ及び ND フィルター

付録 3 を参照すること。

3.2.12 サイバーセキュリティ対策

機体及び送信機のサイバーセキュリティを確保するため、次に掲げる対策を講じること。

(a) 機体の USB-C ポート及び microSD カードスロット

USB-C ポート : 純正の DJI USB ケーブルを使用し、ストレージ・デバイスをポートに直接挿入しないこと。

microSD カードスロット : microSD カードをスロットへ挿入する前に、同カードにウイルスがないか確認すること。

- (b) DJI RC 2 の USB-C ポート及び microSD カードスロット
USB-C ポート：純正の DJI USB ケーブルを使用し、ストレージ・デバイスをポートに直接挿入しないこと。
microSD カードスロット：microSD カードをスロットへ挿入する前に、同カードをウイルスチェックすること。
- (c) DJI RC-N2 の USB-C ポート
USB-C ポート：純正の DJI USB ケーブルを使用し、ストレージ・デバイスをポートに直接挿入しないこと。
- (d) DJI RC 2 の WiFi ネットワーク
DJI RC 2 を、セキュリティ対策が不十分な公共の Wi-Fi ネットワークには接続せず、信頼できるサービスプロバイダーが提供する高度なセキュリティ対策とパスワードが設定された Wi-Fi ネットワークに接続すること。
- (e) DJI RC-N2 に送信機ケーブル（USB 又は Lightning）で接続されたスマートフォン
セキュリティ対策が施されたスマートフォンを使用すること。DJI RC-N2 に接続する前に、スマートフォンにウイルスがないか確認し、接続には純正の DJI USB／Lightning ケーブルを使用すること。スマートフォンを、セキュリティ対策が不十分な公共の Wi-Fi ネットワークには接続せず、信頼できるサービスプロバイダーが提供する高度なセキュリティ対策とパスワードが設定された Wi-Fi ネットワークに接続すること。
- (f) GNSS 信号
本機は、GPS、Galileo 及び BeiDou の 3 種類の GNSS 信号を受信することができ、冗長性を確保している。飛行中に GNSS 信号が妨害された場合、又は妨害された可能性がある場合、飛行モード（自動又は手動）に応じて以下の措置を講じること。
自動飛行中の場合：
・ 実施中の自動飛行を中止し、手動飛行に切り替えて、ジンバルカメラの映像を確認しながら機体を安全な場所に着陸させること。
手動飛行中の場合：
・ ジンバルカメラの映像を確認しながら機体を安全な場所に着陸させること。

3.2.13 飛行制限

付録 1 の「飛行制限」（P.20-22）を参照すること。

同節には、以下の内容が含まれている。

- ・ GEO（Geospatial Environment Online）システム
- ・ 飛行制限
- ・ 飛行高度と距離制限
- ・ GEO 区域のロック解除

3.3 非常操作

3.3.1 飛行中のモーター停止

付録 1 の「飛行中のモーター停止」（P.24）を参照すること。

3.3.2 機体ステータスインジケータ - 警告の状態

付録 1 の「機体ステータスインジケータ」（P.49）を参照すること。

同節には、以下の内容が含まれている。

- ・ 送信機の信号ロスト
- ・ 離陸不可（例：ローバッテリーなど）
- ・ バッテリー残量極度に低下
- ・ 重大なエラー

- ・ コンパスキャリブレーションが必要

3.3.2 機体のバッテリー残量低下

付録 1 の「機体のバッテリー残量低下」 (P.51-52) を参照すること。

3.3.3 送信機信号のロスト

付録 1 の「送信機信号のロスト」 (P.52-53) を参照すること。

3.3.4 ビジョンシステムが利用できない／無効になっている場合の GNSS 信号のロスト

付録 1 の「フライトモード」 (P.48-49) のうち、特に以下の部分を参照すること。

「ビジョンシステムが利用できない／無効になっている、GNSS 信号が弱い／コンパスが干渉を受けている場合、機体は自動的に姿勢モード (ATTI モード) に切り替わります。ATTI モードでは、機体は周囲環境の影響をより受けやすくなります。風などの環境要因によって水平方向に機体がドリフトすることがあり、狭いスペースで飛行している際は特に危険を招くおそれがあります。機体は定位置でホバリングしたり自動的にブレーキをかけたりすることができないため、操縦者は事故を避けるためにできるだけ早く機体を着陸させる必要があります。」

3.3.5 トラブルシューティングの手順

付録 1 の「トラブルシューティングの手順」 (P.119) を参照すること。

3.3.6 リスクと警告

付録 1 の「リスクと警告」 (P.119) を参照すること。

第 4 章 性能情報

4.1 一般

本章には、無人航空機の性能情報が記載される。

4.2 飛行性能

4.2.1 最大飛行時間

飛行形態 (1.4 節を参照)	最大飛行時間
1a 又は 1b	34 分 (無風環境下、飛行速度 7 m/s で飛行中に測定)
2a 又は 2b	45 分 (無風環境下、飛行速度 7 m/s で飛行中に測定)
3a 又は 3b	16.5 分 (無風環境下、飛行速度 4 m/s で飛行中に測定)

4.2.2 水平方向の最大飛行速度

- 16 m/s (Sport モード)
- 12 m/s (Normal モード)
- 12 m/s (Cine モード)

4.2.3 最大上昇速度

- 5 m/s (Sport モード)
- 5 m/s (Normal モード)
- 3 m/s (Cine モード)

4.2.4 最大下降速度

- 5 m/s (Sport モード)
- 5 m/s (Normal モード)
- 3 m/s (Cine モード)

4.2.5 最大傾斜角度

35°

4.2.6 ホバリング精度 (無風又は微風)

垂直 :
±0.1 m (ビジョンポジショニング使用時)
±0.5 m (GNSS ポジショニング使用時)

水平 :
±0.1 m (ビジョンポジショニング使用時)
±0.5 m (GNSS ポジショニング使用時)

4.2.7 最大航続距離

飛行形態 (1.4 節を参照)	最大航続距離
1a 又は 1b	18 km (無風環境下、飛行速度 11.3 m/s で飛行中に測定)
2a 又は 2b	25 km (無風環境下、飛行速度 12.3 m/s で飛行中に測定)
3a 又は 3b	7 km (無風環境下、飛行速度 10 m/s で飛行中に測定)

4.3 バッテリーの電力容量、使用可能容量及び型番

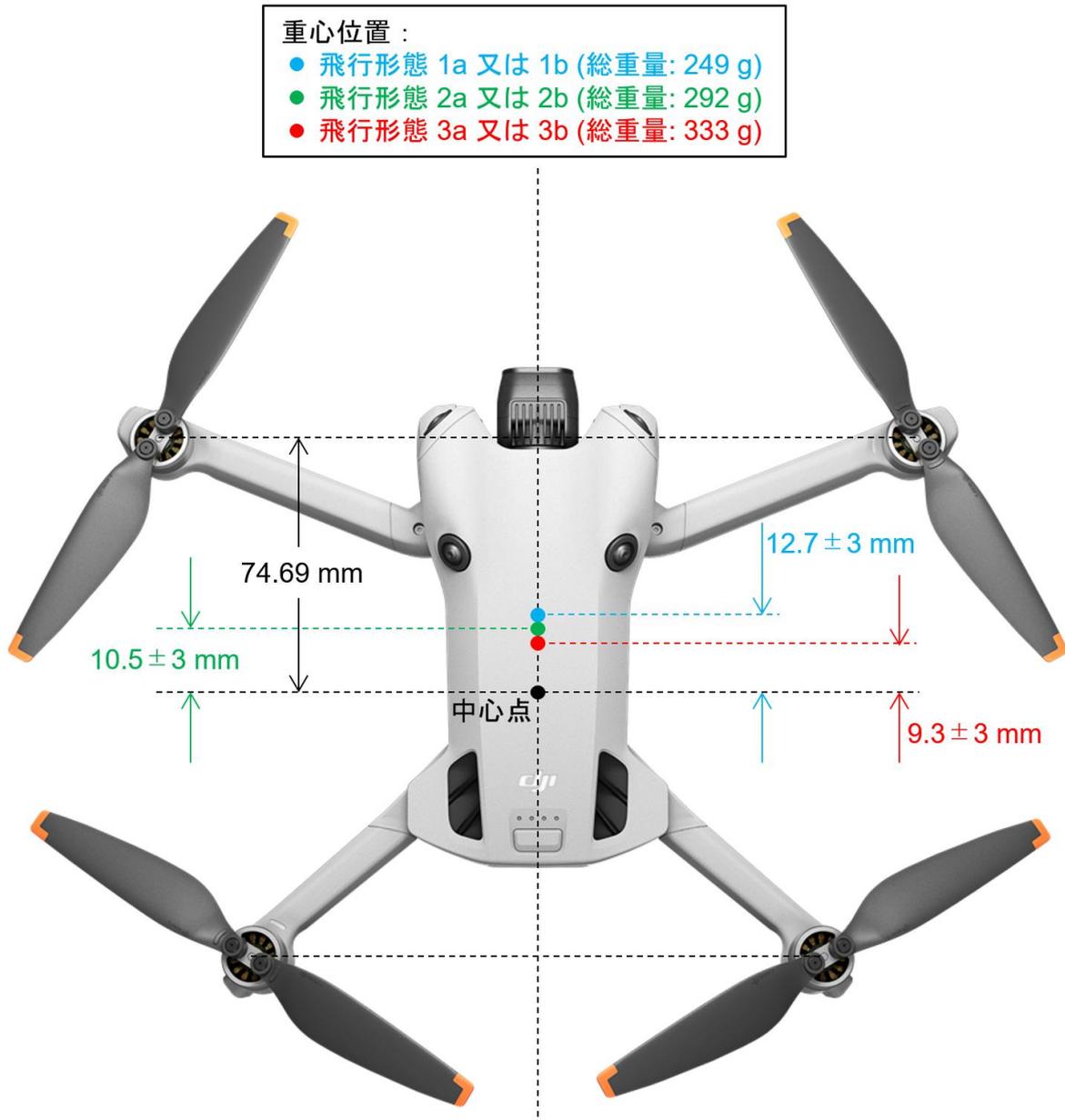
- IFB
電力容量 : 2590 mAh
使用可能容量 : 2590 mAh
型番 : BWX140-2590-7.32 (製造事業者 : DJI)
- IFB-P
電力容量 : 3850 mAh
使用可能容量 : 3850 mAh
型番 : BWX162-3850-7.38 (製造事業者 : DJI)

第 5 章 搭載情報

5.1 一般

本章には、無人航空機の搭載情報が記載される。

5.2 重量及び重心位置



5.3 貨物・バラストの積載

非適用

5.4 許容される重心位置の範囲

非適用

5.5 重量・重心に影響を与えるオプション装備品のリスト

- PG

第 6 章 設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報

6.1 一般

本章には、無人航空機の設計、運用又は取扱いによる安全な運用に必要なその他の情報が記載される。

6.2 継続的な運用安全通報

6.2.1 飛行許可・承認申請

オペレーターは、以下のいずれかに該当する状態で本無人航空機を用いた特定飛行（2.2 節を参照）を行う場合、国土交通大臣へ飛行許可・承認申請を行うこと。

- ・ 飛行させる機体が機体認証を取得していない。
- ・ オペレーターが無人航空機操縦者技能証明を保有していない。
- ・ 飛行させる機体が機体認証を取得し、かつ、オペレーターが無人航空機操縦者技能証明を保有しているが、飛行許可・承認申請が免除されない特定飛行（注 1）を行う。

注 1：該当する特定飛行

航空法第 132 条の 85 第 1 項第 1 号	空港等の周辺又は地上から 150m 以上の上空
航空法第 132 条の 86 第 2 項第 4 号	催し場所上空での飛行
航空法第 132 条の 86 第 2 項第 5 号	危険物の輸送
航空法第 132 条の 86 第 2 項第 6 号	物件の投下

6.2.2 飛行計画の通報

オペレーターは、本無人航空機を特定飛行させる場合、事前に当該飛行の日時、経路などの事項を国土交通大臣へ通報すること（飛行許可・承認が免除される場合も同様）。

6.2.3 飛行日誌

オペレーターは、本機を特定飛行させる場合、以下の飛行日誌を備え、必要な事項を漏れなく記載すること。

- ・ 飛行記録：実際に飛行した内容を記録する。
- ・ 日常点検記録：飛行前点検などの結果を記録する。
- ・ 点検整備記録：定期的な点検の結果や整備・改造内容を記録する。

6.2.4 事故及び重大インシデントの報告

本無人航空機の飛行中に事故（注 2）又は重大インシデント（注 3）が発生した場合、オペレーターは、次のとおり行動すること。

- (1) ただちに当該機の飛行を中止し、負傷者を救護すること。
- (2) 当該事故等の詳細について国土交通大臣へ報告すること。

注 2：事故

- ・ 無人航空機による人の死傷（重傷以上の場合）
- ・ 第三者の所有する物件の損壊
- ・ 航空機との衝突または接触

注3 : 重大インシデント

- 無人航空機による人の負傷（軽傷の場合）
- 無人航空機の制御が不能となった事態
- 無人航空機が飛行中に発火した事態
- 飛行中に航空機との衝突または接触のおそれがあったと認めた時

付録 1 – DJI Mini 4 Pro ユーザーマニュアル v1.4

https://dl.djicdn.com/downloads/DJI_Mini_4_Pro/20240627/DJI_Mini_4_Pro_User_Manual-JP.pdf

付録 2 – DJI Mini 4 Pro 360° Propeller Guard ユーザーガイド v1.4

複数言語:

https://dl.djicdn.com/downloads/DJI_Mini_4_Pro/AC/20240514/DJI_Mini_4_Pro_Propeller_Guard_User_Guide_multi_v1.4.pdf

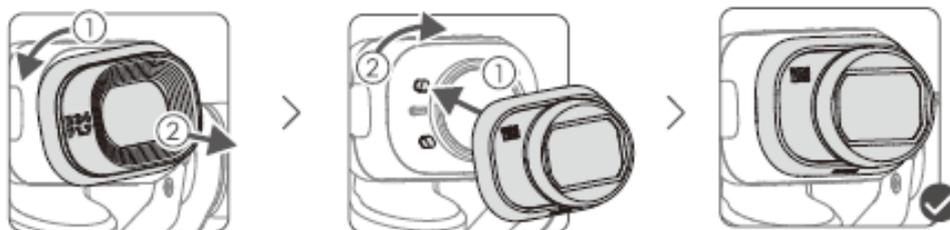
付録 3 – 広角レンズ及び ND フィルター

1. 広角レンズ

- 重量 約 2.3 g



取付方法 :

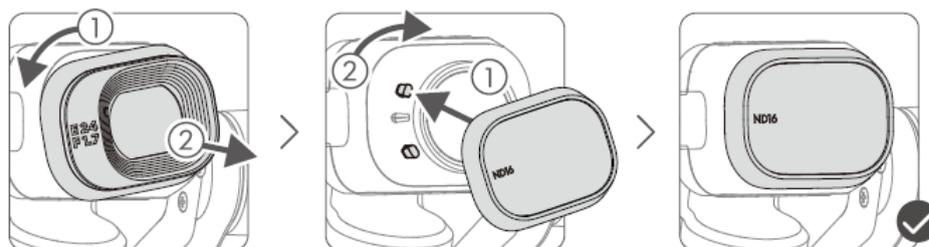


2. NDフィルター (3種類 - ND16, ND64, ND256)

- 重量 約 0.75 g each



取付方法 :



注 :

機体に標準で付属するジンバルレンズ保護ユニット（上記レンズ・フィルターの取付方法の一番左の図を参照）の重量は約 0.63 gである。